



2019年11月11日

各位

会社名 ソースネクスト株式会社
代表者 代表取締役社長 松田 憲幸
(コード番号 4344 東証第一部)
問合せ先 管理 グループ
取締役常務執行役員 青山 文彦
電話番号 03 - 6254 - 5231

2020年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2019年5月15日に公表しました2020年3月期 第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2020年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異（2019年4月1日～2019年9月30日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	9,321	202	200	140	1.03
実績値 (B)	8,683	362	353	197	1.45
増減額 (B - A)	△638	159	153	56	
増減率 (%)	△6.8	78.6	76.2	40.3	
(参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	5,743	507	516	398	3.09

(注)当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行なっております。1株当たり当期純利益については、2018年3月期の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して算出しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、主力製品であるAI通訳機「POCKETALK W」による収益が続伸し、想定を越えるペースで進んだものの、第2四半期に予定していた新製品「POCKETALK S」の発売が遅れたこと等により、上期の業績予想を若干下回る形となりました。

利益につきましては、年賀状シーズン到来に向けて、ハガキ作成ソフト「筆まめ」など付加価値の高いパソコンソフトの販売が好調に推移し売上総利益が当初予想を上回ったことに加え、「POCKETALK」のCMやインフォーマーシャル（インフォメーション（情報）とコマーシャル（広告）とを掛け合わせた造語）をより効果的な時間帯・チャンネルに露出を選定し放映したことで、広告宣伝費が当初予想を下回ったこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が発表予想を上回ることになりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

以上